

第1回宇治市特定地域防災協議会及び第1回久御山町特定地域防災協議会の結果概要

1 日 時 平成30年3月27日（金）午後3時～4時30分

2 場 所 京都府宇治総合庁舎1階大会議室

3 出席者 別添出席者名簿のとおり

4 内 容

(1) 開会

前川京都府危機管理監から挨拶

(2) 特定地域防災協議会の趣旨について

事務局から説明（資料1）

(3) 特定地域防災協議会規約（案）について

（宇治市特定地域防災協議会規約（案）、久御山町特定地域防災協議会規約（案））

事務局から説明（資料2-1、2-2） →異議なく、了承

(4) 地域における防災対策の現状と課題等について

① 宇治市における防災対策の現状と課題等について

宇野宇治市副市長から説明（資料3-1）

② 久御山町における防災対策の現状と課題等について

中村副町長から説明（資料3-2）

(5) 各機関における地域での取組状況、今後の取組予定等について

【広域避難について】

○ 指定された避難場所は水害時には浸水する。どこに避難したらよいのか分からないことが課題。（地域住民）

○ 隣接自治体に避難するなど、府の支援により広域的な避難場所を決めておく必要がある。避難場所が決まれば避難所要時間も決まるので、タイムラインが作成できる。

（淀川河川事務所）

○ 広域避難の調整は府の役割。この協議会でも議論したい。（京都府）

【水害避難行動について】

○ 地域住民が自主的に避難を行うための水害避難行動タイムラインについて、この地域で先行的に作成すべき。

水害時の避難行動については、外水氾濫、内水氾濫を分けて議論してはどうか。

（京都府）

- 平成 25 年に避難指示が発令された際には、インターネットで知った天ヶ瀬ダムの放流状況を住民に知らせていち早く避難することができた。常日頃から放水量と水位の関係を知っておく取組をしている。また、インターネットを利用して、琵琶湖周辺の雨量の見方を知っておくことが大切。

電光掲示板について、人通りが多い場所での設置、増設や点検を望む。

(地域住民)

- 中小河川では急激に水位が上がる。タイムラインの作成においては、避難判断の基準について十分な議論が必要。(京都府)

- 高齢者は、自らインターネットやテレビによる情報収集が難しい。自治会による要配慮者の把握や避難誘導が重要。(地域住民)

【防災意識について】

- 適切に避難行動をしてもらうためには、自治会の協力や子どもへの防災教育等が大切。(淀川河川事務所)

- 行政も住民も過去の大災害の経験を引き継ぐことが必要。(宇治市、京都府)

- 自治会として、地域の連携を強化し、防災意識を高めるよう、体験型の訓練を行いたい。(地域住民)

【内水排除対策について】

- 町が実施すべき内水排除対策について、この協議会でも意見をもらいたい。(久御山町)

(6) 特定地域防災協議会及び同幹事会の開催予定について

事務局から説明(資料4)